

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	細			R1事業内容	R1活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	文化観光創出事業	H24 ～ R3	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場施設の整備、園路照明灯の設置 ・実施設計(屋外トイレ建築、親水空間・斜面緑地保全ゾーン、園路) ・磁気探査業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場施設の整備完了 ・園路照明灯の設置完了 ・実施設計の完了(屋外トイレ建築、親水空間・斜面緑地保全ゾーン、園路) 	【R4成果目標】 令和4年度年間来場者数:2万人/年 【今後のスケジュール】 ・用地取得と物件補償(～R3年) ・施設整備(～R3年)	【R4成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。
1	②	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	H26 ～ R3	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつながる響むまちとみぐすく」の実現を目的とする。 また、とみぐすく祭り会場にて豊見城市産品を一堂に会した産業フェスタを併催することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業の効果的なPRを行い産業の振興を図る。	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催 日程:令和元年11月(未定) 会場:豊崎美らSUNビーチ 内容:地域資源を活用した祭りと市産品を一堂に会した産業フェスタを併催	とみぐすく祭りの開催・豊見城産業フェスタの開催 とみぐすく祭りの来場者数:8万人 ハーリー大会参加チーム数:63チーム	【今後のスケジュール】 市の二大イベントを同時開催することにより、経済的かつ効果的な運営と集客を図る。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	③	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ①植栽樹の管理(1387樹、2回除草清掃・防除工) ②プランターの植栽管理(464個) 	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	④	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ R1	市内一周線の再編について、検討、評価を行うため、前年度実施した新庁舎移転後に行ったバスルート変更前の事前調査を基に、バスルート変更後のバス利用状況調査、ルート再編の評価、課題の整理及び豊見城市の望ましい公共交通のあり方の検討を行う。	バスルート再編後の事後調査、評価、検証及び課題の整理を行う。	市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 今後は、R1の検証結果や社会情勢の変化に応じて、再度ルートの再編を行う必要があるか適切に判断し対応する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	豊見城市優良母牛導入支援事業	H27 ～ R2	優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(110%)	【今後のスケジュール】 優良母牛導入頭数 R1:16頭(5年目導入率83%) R2:16頭(6年目導入率100%)	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
3	①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R3	臨床心理士による認定こども園及び保育園への巡回・個別相談を実施し、特別な支援を必要とする子を抱える保護者や保育士への支援を行う。	臨床心理士配置:2名	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士等への支援を実施。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者や保育士の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	心理相談事業	H27 ～ R3	乳幼児健診及び事後フォローとして行う親子教室、個別相談に臨床心理士を配置し、発達支援を必要とする乳幼児を抱える保護者の育児不安軽減を図る。	各事業での心理相談・個別支援と事業運営 (事業回数) 幼児健診・事後支援 28回/年 親子教室(運営・指導) 12回/年 心理相談(運営・指導) 24回/年 経過観察クリニック 4回/年 関係機関会議の参加 5回/年 計 73回	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 健診及び相談支援部門と保育部門の連携の確立	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が育児に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	小中学校において、特別に支援を要する児童生徒の教育活動の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し支援を行う。	特別支援教育支援員の配置:30人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談・指導助言・面談等の実施	臨床心理士への相談により育児に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 令和3年度まで継続的に配置し、十分な教育を受けることができるように配慮する。	【R1成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別教育支援員の教育相談等の支援により教育活動の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	②	学力向上サポート事業	H24 ～ R3	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.8ポイント ※H27～H29の県平均との差+2.7ポイント ②中学校:+1.9ポイント ※H27～H29の県平均との差+1.8ポイント	【今後のスケジュール】 継続的に配置し、令和3年度の県平均正答率との差を小学校+2.6ポイント、中学校+2.5ポイントを目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	SSW配置数:3人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率36% (改善ケース/支援対象ケース件数)	【今後のスケジュール】 令和3年度まで継続的にSSWを配置し、関係機関との連携構築を行い、維持する。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
4	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等の適切な支援を行うことにより登校復帰及び社会的自立を支援する。	学習支援補助員配置数:中学校1人、 適応指導教室2人 登校支援員配置数:小学校4人(小学校2校につき1人)	不登校児童生徒復帰率20%以上 (学校復帰した児童生徒/新規不登校児童生徒)	【今後のスケジュール】 継続的に各種支援員を配置し、令和3年度の学校復帰率30%を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R3	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語講師を派遣する。	外国語英語教師(ALT)の配置数:3人 日本人英語指導講師(JTE)派遣校数 小学校:8校	・小学生 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合 74%以上 ・中学生 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +4.0ポイント	【今後のスケジュール】 継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、令和3年度の県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+3.8ポイントを目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 [小学生]対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 [中学生]過去の実績を勘案して設定した。
4	⑥	ICT教育推進事業	R1 ～ R3	教師のICT機器の習熟度を向上させるため情報教育指導補助員を配置するとともに、教師用タブレットPC、電子黒板及びデジタル教科書を整備し、わかりやすい授業を展開する。	情報教育補助員:3人派遣 教師用タブレットPC整備:307台 電子黒板整備:8台 デジタル教科書整備:小学校8校	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R3年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R1成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
4	⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒派遣費の一部助成を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
4	⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒派遣費の一部助成を行う。	【R1成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
4	⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R3	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	・市内中学生14名をハワイ州へ派遣 ・報告会の開催(1回)	派遣後、団員アンケートで「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した人の割合が8割以上	【今後のスケジュール】 ・派遣予定数 R1年度～R3年度:各年度14名 合計42名	【R1成果目標設定の考え方】 当事業の目的はリーダー育成・国際的人材育成であるため、この事業を通してより一層団員の興味関心・意欲を高め次世代で活躍できる人材を育成したいとの考えからこの成果目標とした。
4	⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R2	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおり、より効率のよい小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R1成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、就業意識が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	⑪	学校給食施設塩害防止長寿命化事業	R1 ～ R1	施設の衛生機能を強化することで、児童生徒に安全安心な学校給食を提供する。	外壁塗装等設計 外壁塗装等工事	学校給食衛生管理基準違反:0件	【今後のスケジュール】 食中毒の原因となる一般生菌・大腸菌群・大腸菌等の発生を確実に防除し、児童生徒に安全安心な給食を提供する。	【R1成果目標設定の考え方】 学校給食における衛生管理の重要事項を示した「学校給食衛生管理基準」を満たすことで、食の安全が確保されるとの考えから成果目標とした。
4	⑫	学習環境等整備事業	R1 ～ R1	市立図書館において、学習スペース・研修室等を利用する児童生徒の学習環境と、沖縄の歴史・民俗資料等の保存環境の改善を図る。	調査設計及び監理委託業務 断熱防水工事	調査設計業務の実施 断熱防水工事の実施	本事業の目的である快適性の改善は、整備前で検証が困難なため、本年度は成果目標として定性的な指標を設定した。 【R2以降の成果目標】 ・「学習環境の快適性が改善した」と回答した者の割合80%以上 ・漏水等の影響による保管された歴史・民俗資料等の破損・劣化等の発生件数0件	【R2以降の成果目標設定の考え方】 ・アンケートにより、大多数が快適性が改善したと考えられる数値として「80%以上」を目標値とした。 ・雨漏り等による資料の劣化や破損を防ぐことは、保存環境の改善につながると考え、「漏水等の影響による保管された歴史・民俗資料等の破損・劣化等の発生件数 0件」と設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和元年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R1成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R1活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
5	①	組踊継承事業	H29 ～ R1	豊見城が題材となっている組踊「雪払」について、継承と活用しやすい環境を整えるため、復元台本の増補と上演を行い、更に上演後に上演台本を制作する。	上演台本の検討と編集	上演台本の発刊 50部	【R2成果目標設定の考え方】 組踊「雪払」練習会参加者数 20人/年 【今後のスケジュール】 組踊継承者の育成と先進地の取組みを参考にし、地域に根差した文化資源を活用し、文化振興を継続的に実施していく。	【R2成果目標設定の考え方】 本来は組踊「雪払」の観覧者数等を設定すべきであるが、上演にあたっては人間国宝の組踊保持者による継承者育成が5年程度必要となるため、その発現年度は令和6年度と見込まれる。そのため、上演に向けた練習会への参加者数をもって、成果目標として設定する。人数については、一般的な組踊の演舞者数をもって設定した。
5	②	文化財案内表示板設置事業	R1 ～ R2	市民等が文化財に訪れやすい環境を整備するため、文化財に至る案内表示板を設置する。	文化財案内表示板 制作30基	・「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 25,550回/年 ・文化財巡り参加者 30名/年	【今後のスケジュール】 R2 文化財案内表示板 30基	【R1成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	・プロチームへの誘致活動 ・環境整備のための要望調査 ・県内の先進自治体視察による情報収集 ・備品の整備	・プロチームへの誘致活動の完了 ・環境整備のための要望調査の完了 ・県内の先進自治体視察による情報収集の完了 ・備品の整備完了	【R2以降成果目標】 サッカーキャンプ受入件数:2件/年 【R5以降成果目標】 陸上競技場に係る年間の維持管理費の削減	【R2以降成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。 【R5以降成果目標の考え方】 指定管理制度導入による削減額を調査・検討し具体的な指標を設定する。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。